

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	一般農道整備事業	都道府県名	北海道	地区名	幌延
-----	----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		388,500千円	
年 効 用		36,285千円	
廃 用 損 失 額			廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		34年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0554	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	654,964千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.68	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	217	砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：牧草
営農経費の節減	1,157	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	33,868	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車両走行に要する経費の節減 対象作物：牧草・牛乳
施設更新による従前の農業生産の維持	1,043	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	-	農道の改修整備に伴う一般交通車の車両走行に要する経費の節減等
計	36,285	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	一般農道整備事業	都道府県名	北海道	地区名	猿払北部
-----	----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 8 3 , 5 0 0 千円	
年 効 用		2 8 , 4 3 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 0 5 , 9 9 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 7 8	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	5 0 4 砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：牧草
	品質向上効果	- 舗装に整備することで、農作物運搬時の荷傷み被害が防止され品質が向上 対象作物：
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1 , 4 5 1 農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	2 5 , 9 0 1 農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車両走行に要する経費の節減 対象作物：牛乳、牧草
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	5 8 1 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	- 農道の改修整備に伴う一般交通車の車両走行に要する経費の節減等
計	2 8 , 4 3 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	一般農道整備事業	都道府県名	北海道	地区名	広野
-----	----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 5 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		5 2 , 1 9 0 千円	
廃 用 損 失 額		1 2 , 4 4 5	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 0 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 5 7 , 3 8 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 3	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	2 , 7 2 3 砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：牧草
	品質向上効果	- 舗装に整備することで、農作物運搬時の荷傷み被害が防止され品質が向上 対象作物：
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1 2 , 0 1 8 農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	2 8 , 8 8 7 農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車輛走行に要する経費の節減 対象作物：牛乳・牧草
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7 , 9 3 1 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	6 3 1 農道の改修整備に伴う一般交通車の車輛走行に要する経費の節減
	安全性向上効果	-
計	5 2 , 1 9 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	一般農道整備事業	都道府県名	北海道	地区名	元和 2 期
-----	----------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 3 2 , 2 7 4 千円	
年 効 用		4 6 , 5 7 8 千円	
廃 用 損 失 額			廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9 0 4 , 4 2 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	4 6 3	舗装に整備することで、農作物運搬時の荷傷み被害が防止され品質が向上 対象作物：馬鈴薯、大根
	品質向上効果	1 , 5 7 3	舗装に整備することで、農作物運搬時の荷傷み被害が防止され品質が向上 対象作物：馬鈴薯、大豆、大根、にんじん、水稲、野菜等
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1 , 1 4 2	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	2 0 , 4 2 2	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車輛走行に要する経費の節減 対象作物：馬鈴薯、大豆、大根、にんじん、水稲、野菜等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 4 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	2 2 , 3 3 5	農道の改修整備に伴う一般交通車の車輛走行に要する経費の節減
計		4 6 , 5 7 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	一般農道整備事業	都道府県名	北海道	地区名	東豊似 2 期
-----	----------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 8 6 , 2 9 0 千円	
年 効 用		3 7 , 5 2 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 5 4	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 7 7 , 3 8 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	2 , 5 3 4	砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：牧草、デントコーン
	品質向上効果	-	舗装に整備することで、農作物運搬時の荷傷み被害が防止され品質が向上 対象作物：
営農経費の節減	維持管理費節減効果	7 , 1 6 9	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	2 4 , 0 3 5	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車輛走行に要する経費の節減 対象作物：牧草、デントコーン、牛乳
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3 , 0 5 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	2 9 5	農道の改修整備に伴う一般交通車の車輛走行に要する経費の節減
	安全性向上効果	4 3 9	地域の要望等により必要となった構造としたため、安全性が向上
計		3 7 , 5 2 7	